



日本橋中前の歩行者橋から隅田川を望む
 左手に両国橋、新大橋方面が見える。陸橋がオープンで一定の高さがあることから、開放感と川風に心地よいが、正面の首都高の連なりが背後の景観を遮り、川面に影を落としている。

橋と橋詰めの景観形成

橋のデザイン、ライトアップ等の修景
 橋詰めの活用、河岸へのアクセス、親水性の確保

隅田川テラス（日本橋中前）



中学生のクラブ活動などの走路になっている。水辺と後背地との連続が課題。

隅田川テラス修景（日本橋中前）



奥に両国橋が見え、日本橋中学の前から横断歩道で河岸の歩道部に上れる。歩道部は浜町河岸通りより高く設置されている。

大川端の景観形成

水辺の軸として、水辺に向けた景観誘導と規制（高さ、セットバック、連続性、色彩等）。河岸の良好な利用ガイド・修景指針など。

浜町公園の河岸



修景デザインされているが、管理があまり良くなく、ホームレスも定着している。

新大橋から上流



浜町側の河岸は首都高が上空を走り、江東区側の河岸には板のようなマンションが連なっている。

隅田川テラスのホームレス



浜町公園の北側の首都高の下、雨露が渡るのか、テラスに据えられたデッキの上に仮設のアント等でホームレスの居住がみられる。

消防艇の係留



日本橋消防署の消防艇が3隻係留されている。
 日本橋入形町二丁目

日本橋中州、河岸のマンション



建設が比較的古いのか、地盤面が堤防よりも日本橋浜町三丁目におおよそ1階分ほど低い。

清洲橋



全体のフォルムがきれいで、夜にはライトアップされ、大川端に映える。

隅田川テラス案内板



周辺を含めた地図、歴史的な紹介もあり、デザインされており好ましい。

常盤橋・常盤橋公園

CAPS がアサインイベントを開催、日本橋ルネサンス委員会もこれに協力している。さらに、保存・修復へ向けた新たな活動が立ち上がろうとしている。



旧常盤橋

歴史的にも、現在の位置にも優れた資源であるが、老朽化が進み、上空は首都高に覆われている。



隠れた眺望点

新大橋の一石橋へ至る遊歩道から見える日本橋川河岸は、首都高が移設されると、東に一石橋、西河岸橋、日本橋など、北に日銀、常盤橋などが見え、優れた眺望点となることが想像できる。



対象とした水辺

日本橋川・隅田川

河岸



拠点・ポイント（橋と橋詰め）



現状のイメージ・環境等

- 良好なイメージ・環境 ●
- 好ましくない ●
- 複合的な課題 ●
- 水辺とのアクセス遮断 〰〰〰

一石橋から下流

左岸側は、河岸が埋め立てられて建築物が建っている。右岸側は地盤面が低く、河川からコンクリートの薄い壁が立ち上がっている。



湊橋から下流

豊海橋がみえる。河岸ぎりぎりに薄い箱板状のビルが並び、河岸も垂直のコンクリートである。



日本 IBM 箱崎ビル

河岸と一体となった修景が施されており、緑も豊かで、幅広いオープンスペースが生み出されている。

